



ROTEX 目線「ROTARY の留学」 君に伝えたいこと

編集部より皆様へ

派遣候補生に選ばれたみなさん、合格おめでとうございます！
国際ロータリー第 2780 地区では、2005 年度 4 月より、月刊の情報誌を発行しています。

名称である「R²（アールスクエア）」は、「ROTEX Reports」の頭文字をとったもので、当地区 ROTEX メンバーの体験やアドバイスを中心に構成されております。

派遣候補生は、R² をファイルすることが求められます。

派遣先に R² のファイルを持っていけば、悩むことがあったとき、読み返すことができるからです。

R² は、学生が自分たちで問題を解決していく力をサポートするものなのです。

これまで発行された R² はウェブサイトでも閲覧できます。

<http://www.rotex2780.com/>

ROTARY の留学とは？

ROTARY 留学は、他の留学機関とは一味も二味も違っています。ROTARY 留学で私たち ROTEX は何物にも代え難い経験をしてきました。みなさんもこれからその経験をするようになりますが、その前に私たち ROTEX から、みなさんへ ROTARY 留学について知っておいてもらいたいことがあります。

親善大使としての責任を負う

派遣候補生とは見事選考試験をパスし、選び抜かれた日本の親善大使です。常に日本代表として責任のある行動をするよう心がける必要があります。

多くの人々に支えられる

あなたが留学するにあたって、本当に大勢の人々がそれに関わっています。それら全ての人たちに感謝を忘れずに、派遣までの準備をしてください。また派遣中や帰国後にも感謝すべきことはたくさんあります。感謝の気持ちは常に言葉や体で表しましょう。

準備期間が充実している

派遣先ではあなたの言動ひとつが日本全体のイメージに繋がることが多々あります。毎月のオリエンテーションや ROTEX 行事に積極的に参加することが、派遣先で日本を紹介するときの大きな助けになります。

いろんな国の友達ができる

こんなにいろんな国の友達ができるのは ROTARY 留学以外ありえないと言っても過言ではありません。一期一会、人との出会いを大切に、いろんな国の友達と仲良くしてください。

世界平和への貢献

この留学ではロータリーを通じて、世界平和について考える時間が多く与えられるでしょう。この貴重な体験を通じて世界について、自ら経験を積むことができます。

君に伝えたいこと



準備期間を有効に使おう！

高久 早苗

たかく さなえ

2005/CANADA

みなさん派遣決定おめでとうございます！

きっとこれからの留学への期待や不安でドキドキしていると思います。

いったい留学に向けて何をすれば良いのか。。など迷っている人もいるのではないのでしょうか？

そんなときはいつでも ROTEX に相談してください。

ROTEX 一人ひとり、様々な経験をしています。きっと自分の派遣国以外の ROTEX の体験談からも新しい発見が見つかると思います。

長いようで留学までの半年間はあっという間です。

この半年間の準備期間を有効に使ってください。

またみなさんの留学は今日からスタートしていると思って欲しいです。

1年間海外で過ごすということは並大抵の事ではありません。

留学までの準備期間は今まで回りに頼ってきた自分を見つめなおす良い機会になると思います。

これからオリエンテーションや行事でみなさんとたくさん話して、仲良くなれるのが楽しみです。

よろしくお願いします^^



問題意識を持とう！

立入 朗人

たちいり あきと

2005/BRAZIL

留学を終えて早2年半が経ちました。僕はロータリーで留学して本当に良かったと今、心から思っています。皆さんはこれから、1年間の留学を通じてきっとかけがえのない経験をするでしょう。交換留学生に選ばれた皆さんは、本当に良いチャンスを掴んだと思います。さて、これから皆さんは約半年間の準備期間を経て、たった1人で異国の地へ向かいます。今後の準備期間をいかに有効に使うのか、それが留学の成否を分ける重要なポイントになると思います。せっかく掴んだこのビッグチャンス、どうせなら思いっきり有効利用したいですね。そこで僕が伝えたいのは、「問題意識を持とう！」ということです。どんな些細な出来事でもいいので、色々な情報に常に広くアンテナを張ることを意識しましょう。日本の社会問題、世界の環境問題、自分の派遣国に関して、自分が興味のあるものなら何でもいいです。問題意識を持ち、それに対して自分は何ができるのかを考えましょう。留学中も同じ様に常に自分で何か問題意識を持ち、それを軸に考え行動してほしいです。そんなことを少しずつ、この準備期間で進めていけば皆さんの留学生活はより充実するはずですよ！僕たち ROTEX もできる限りサポートをしていくので、より充実した留学生活を送るために一緒に頑張りましょう！





やりたいことリストを作ろう！

大沼 恵理

おおぬま えり

2006/USA

新派遣候補学生のみなさん、選考試験合格おめでとうございます。今は留学に対する期待と不安でいっぱいという感じなのでしょうか。あと約8か月、留学準備を十分に、素敵な留学生活を実現しましょう。

さて今回、留学が決まった皆さんに向けて、「留学中やりたいことリスト」を作成することを提案します。さらに目的達成のために、自分自身がどう動くかということ具体的に考えると良いでしょう。私は留学中に「留学中やりたいことリスト」を作成し始めたのですが、これは自分が留学を無駄にしていないという自信にもつながりましたし、目的を明確にリストアップしていくことで、積極的に行動することもできたのでお勧めです。

あなたが留学を決意したのは何故ですか。外国語を学びたいから？留学に対してなんとなくカッコいいイメージがあるから？私自身も最初は漠然と語学学習、国際交流といった目的を持っていたのですが、実際辛かったのはこの目的を実現すること。あまりに目的が漠然としていて、何をどうすればいいのかを具体的に考えていなかったがために、実際行動を起こすことが難しかったのです。例えば私には「異文化理解」という目的がありましたが、これではあまりに漠然としています。そこで私がリストに加えた目標は「現地の料理を一つでも作れるようにホストママから料理を習う！」というもの。これなら異文化理解という目的を達成しやすいでしょう。せっかく海外で生活できる機会を得たのです。重要なのはその機会をどのように生かしていくかということ。あとは自分から行動していく行動力と積極性が大切です。

留学期間は一年間たっぷりあります。目的の実現を焦る必要はありません。留学が終わった帰国後に、たくさんの思い出と一緒に自分は留学でこれだけ目的を達成できたと思えば、それが留学してよかったと思えることにつながるはずです。



有意義な一年間を創ろう！

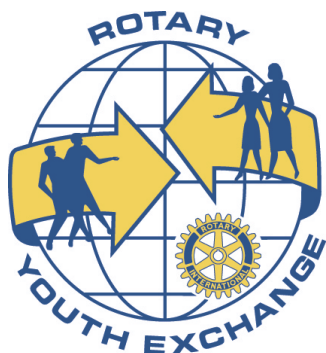
小栗 正裕

おぐり まさひろ

2000/USA

まず、君がロータリーの交換学生として一年間外国で過ごすことを決意したことに、敬意を表します。一年間というのは長いものです。特に3年しかない高校生活のうち1年というのは長さ以上に価値のある時間です。それをわざわざ外国で過ごそうなんて、君もなかなか奇抜な人です。そして幸運な人でもあります。交換学生になるということは誰もが経験できることではありません。一年間で君が経験すること全てが、非常に価値のあることでしょう。そしてこの一年を素晴らしいものにするのも、つまらない時間にするのも君自身であることを忘れないで欲しいと思います。もっと言えば、君はこの一年間に日本で経験できるはずのものを捨てて行くのです。授業とか部活とか、体育祭とか修学旅行とかを全部なげうって交換学生になるのです。それだけの価値があるものだと私は思います。何を選び、何を捨てるかの決断の連続。いかにも人生とはそういうものなのかも知れません。君は交換学生になることを選びました。それを後悔しないように、有意義な一年間を創り出してください。そのために私たちも協力を惜しまないつもりです。応援しています。





R² は当 2780 地区多くの ROTEX の方々、
ガバナー事務所の協力を基に発行されています。
多大なる尽力に感謝いたします。

R² 編集長：杉岡 美季
(2005 年度韓国派遣)

R² 編集部通信

学生のみなさん。選考試験お疲れ様でした。そして、合格おめでとうございます。

皆様は選考試験をうけて、はれて派遣候補生となります。派遣候補生とは、派遣するにあたってその資格があるものです。つまり、これから 1 年間準備をしていきますが、不適切だと判断された場合、派遣を取り消す可能性があるということです。

選抜試験はある意味基礎を意味します。これからのオリエンテーションにおいて、どの程度あなたたちが各国でしっかり活動できるかを見て参ります。

一瞬一瞬あなたがたは支えられつつ、見つめ続けられます。そのことを肝に銘じて、これからの準備期間を過ごしてください。

しかしながら、楽しむことを忘れないでください。楽しさは人生を豊かにします。そこから様々なことを学び取っていきましょう。

DIRECTOR: MIKI SUGIOKA
EDITOR: MASAHIRO ISHIWATA
SUPPORTER: ERI OHNUMA, AKITO TACHIIRI